

令和5年度学園評価報告書

令和6年3月

学校法人盛岡学園みなみ幼稚園

学園評価報告

1. 園のめざす姿

素直にあいさつが云える子ども、健康でたくましく明るい子ども、感謝と思いやりのある子どもたちが育っていく幼稚園をめざしています。

2. 教育目標

よく観察する子　よく考え行動する子　よく集中して取り組む子
このような子どもたちを育てたいと願い教育に取り組んでいます

3. 本年度(令和5年度)の重点目標・計画

- 満3歳 園生活に慣れ、安心して過ごせるようになる。
- 3歳児 基本的な生活習慣を身につけ、身近な環境に親しみを持ちながら園生活を送る。
- 4歳児 自分の思いやイメージを言葉にして伝えたり、相手の思いを受け入れたりしながら、園生活を送れるようになる。
- 5歳児 クラスの一員として友達と協力しながら、目的に向かって取り組む。

4. 令和5年度：評価項目の取組状況及び達成度

| 自己点検評価項目 | 取組状況 | 評価 |
|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1.教育・保育の計画性 園の教育理念、方針の理解 教育課程の編成 指導計画の作成 環境の構成 教育と計画の評価・反省 | ・新・幼稚園教育要領が平成29年に告示されたことを受け、本園の教育課程編成を令和元年度から見直し、指導計画の作成を実施している。 | A |
| 2.教育・保育の在り方、幼児への対応 健康と安全への配慮 幼児の見取りと理解 指導とかかわり 保育者同士の協力・連携 | ・引き続き感染症対策と幼児一人ひとりの身心の影響を考慮しながら生活している。 ・「教務部」「保健部」「校務部」「渉外部」「預かり保育」の部署で必要 | B |

| | | |
|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| | な話し合いをし、職員会議で共通理解に努めている。 | |
| 3.幼稚園教諭としての資質や能力・良識 専門家としての能力・良識・適正組織の一員としての在り方 教育・保育の楽しみ・喜び | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭としての意識・良識・マナーなど再確認し、日々の教育・保育への喜びを感じられるよう自己研鑽に努めている。 ・有給の見える化と残業の低減を図り労働基準法に沿った働き方の実施に努めている。 | A |
| 4.保護者への対応 情報の発信と受信 協力と支援 守秘義務の厳守 対応上のマナー・良識 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを実施し結果の公表をしている。 ・園だより・クラスだより等を通して教育・保育内容について情報を公開している。 ・連絡の仕方や方法、連絡帳での伝え方、話し方に配慮し相互の関わりと協力体制を図っている。 | A |
| 5.地域とのかかわり 地域の自然・人々とのかかわり 小学校との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・例年交流の場となっている地域の行事、高齢者施設訪問は未だ厳戒体制もあり、思うような交流を持てなかったのが今後は工夫していく。 | B |
| 6.研修と研究 研修・研究への意欲・態度 専門性に関する研修・研究 今日的課題に関する専門性の向上 自らを高めるための学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・園外研修として必要なキャリアアップ研修、マネジメント研修ほか段階別研修を積極的に受講し、職員会議等で共有するよう努めている。 ・保育を振り返り、保育者同士意見を交わしながらより良い保育環境を整えている。 ・園内研修として常に今日的課題について等情報交換に努めている。 | A |

| | | |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| <p>7.事故リスクの軽減・防止</p> <p>満3歳、3歳児の事故防止</p> <p>4歳児の事故防止</p> <p>5歳児の事故防止</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「生命の尊重」を第一に考え、事故防止に努めている。 ・子どもの体づくりの観点と事故防止の観点を大切に「遊び」を深めている。 ・予測できない動きがあるため、ヒヤリハットを常に心に置きながら事故防止に努めている。 | B |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|

※評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

5. 総合的な評価結果

新制度の幼稚園として、特定教育・保育施設の運営基準条例、盛岡市子ども子育て支援法施行細則に則して運営しており、透明で開かれた幼稚園を意識し、危機管理には厳しさをもって教育・保育に取り組むよう努めている。

幼稚園教育要領の改訂による「遊びの重要性」を再確認し、各学年の育ち・発達を考慮した教育課程の編成を行っている。

コロナ感染症が5類に移行した後も、集団活動には十分配慮し行事の形などを戻したり工夫しながら実施している。

高齢者施設との関わりにおいては依然施設側の厳戒体制があり、思うような交流には至れなかったことが残念である。今後は様子を見ながら工夫して交流を図りたい。保護者との関わりにおいては、立場が違うことで誤解などが生じないように丁寧に慎重に話し合いの場を持ちながら十分に配慮をしていくことの大切さを実感している。

5. 今後(令和6年度～)取り組む課題

令和6年度から幼保連携型認定こども園に移行するため、教職員が認識を新たにし、気を引き締めて共通理解の元、こども達の保育・教育を施していく。

未満児保育では家庭的な雰囲気の中、温かい見守りと月齢に見合った基本的な生活習慣を身に付けるよう支援していく。3歳以上の教育・保育部門では、今年度同様、遊びを中心とした教育・保育を深めていく。引き続き、地域や高齢者との交流の形を工夫し、心の交流・支援ができるよう努める。

また、火事や地震以外での災害の避難訓練の実施を増やし、想定外の出来事に対する安全対策の研修の実施を検討する。

こども園での生活に教職員も定着するよう努め、都度共通理解を重ねていく。

財務状況報告

法人監事による監査、および公認会計士監査(年2回実施)により、学園は適正に運営されていると認められている。

法人監査 令和5年5月16日 実施

公認会計士監査 令和5年5月10日 実施

 令和6年2月16日 実施

環境点検実施報告

学校薬剤師による環境点検において、施設内環境の照度、空気濃度、温度、水質は基準値を満たしており、預かり保育用室畳等の衛生にも問題なく幼児教育にふさわしい環境と認められている。

環境点検1回目 令和5年9月7日 実施

環境点検2回目 令和6年2月8日 実施

盛岡市実地監査報告

概ね3年に一度の実地指導監査あり。

適正な運営及び管理体制が確認されている。

